

第3章 計画の基本的な考え方

第1節 計画の基本理念

本市では、平成24年3月に策定した第1次地域福祉計画から、『みんなア！！』をキャッチフレーズに掲げ、子どもから高齢者、障害のある人など、全ての市民が、住み慣れた地域で安心して、みんなアで支え合いながらいきいきと暮らすことができる地域づくりに取り組んできました。

そして、前回計画では『みんなアの“あい”があふれる南国市 ～あいさつから であい ふれあい 支えあい～』を基本理念に掲げ施策を展開してきましたが、近年の社会状況の変化により、地域の中での支え合いの弱体化や担い手不足等の様々な課題があがっています。

そのため、本計画においても前回計画に引き続き、『みんなアの“あい”があふれる南国市 ～あいさつから であい ふれあい 支えあい～』を基本理念とし、“あい”にあふれ、あたたかな支え合いの輪が市全体に広がることを目指して、地域福祉に関する様々な取り組みを推進していくこととします。

基本理念

みんなアの“あい”があふれる南国市

～あいさつから であい ふれあい 支えあい～

また、計画の理念や推進するためのしくみづくりと、それに基づく具体的な行動を示し、より地域の実情に応じた活用できる計画とするとともに、市民みんなアが互いに協力し合って、地域福祉を進めていくことを目指して、計画の名称を『みんなアを進める“なんこく地域福祉プラン”』と定めます。

計画の名称

みんなアを進める

“なんこく地域福祉プラン”

第2節 計画の基本目標

基本理念の実現を目指して、次の4つの基本目標に沿って施策を展開します。

基本目標

1

元気な地域・人づくり

市民の誰もが地域への愛着や、福祉への関心を持てるよう、学校教育や生涯学習を通じた福祉教育を推進します。また、地域活動に参加しやすくなるよう、交流の場や機会の提供を図るとともに、様々な地域福祉に関わる活動の促進に向け、担い手の発掘と育成に努めます。さらに、市民全員が元気な地域を目指し、健康づくりや生きがいつくりを推進します。

基本目標

2

安心の支援体制づくり

みんなが安心して暮らせる地域に向けて、市民や関係団体、社会福祉協議会、市などを含む地域が一丸となって取り組むことのできる支援体制づくりを行います。また、福祉サービスを必要とする人が、「制度の狭間」に陥ることがないように、包括的な相談支援体制の構築・強化に努めます。

基本目標

3

誰もが必要なサービスを利用できるしくみづくり

誰もが必要なサービスを利用できるよう、サービスに関する情報をわかりやすく提供・発信することに努めるとともに、市民のニーズを把握する体制の構築を図ります。また、権利擁護の取り組みや再犯防止に関する施策を推進し、気軽に相談できる体制を整備します。

基本目標

4

協働と連携の体制づくり

市民と協働で地域福祉を推進するために、福祉に関する活動の「見える化」を図るなど、地域福祉に関する意識を高める取り組みを推進します。また、市や関係機関・団体等の多様な主体の連携強化に努めるとともに、地域で活動する団体への支援を行います。

第3節 施策体系

基本理念

基本目標

基本方針

みんなの“あい”があふれる南国市
 あいさつから
 であい
 ふれあい
 支えあい

元気な地域・人づくり

1. 「顔の見える関係」づくり【★】

P.50

2. 地域福祉を担う人づくり【★】

P.54

3. 健康づくり・生きがいづくり

P.57

安心の支援体制づくり

1. 包括的な相談支援体制の充実【★】

P.61

2. 要配慮者への支援の充実

P.65

3. 地域の子育て力の強化

P.68

4. 自立・社会参加支援の推進

P.71

5. 防災・防犯等の推進【★】

P.74

誰もが必要なサービスを利用できるしくみづくり

1. 福祉サービスの充実

P.77

2. 誰もが利用しやすい福祉サービスの推進【★】

P.79

3. 権利擁護の推進
 (南国市成年後見制度利用促進計画)

P.82

4. 再犯防止施策の推進
 (南国市再犯防止推進計画)

P.85

協働と連携の体制づくり

1. 地域福祉推進の環境づくり

P.89

2. 多様な主体との連携強化【★】

P.92

3. 活動団体の育成・支援の充実【★】

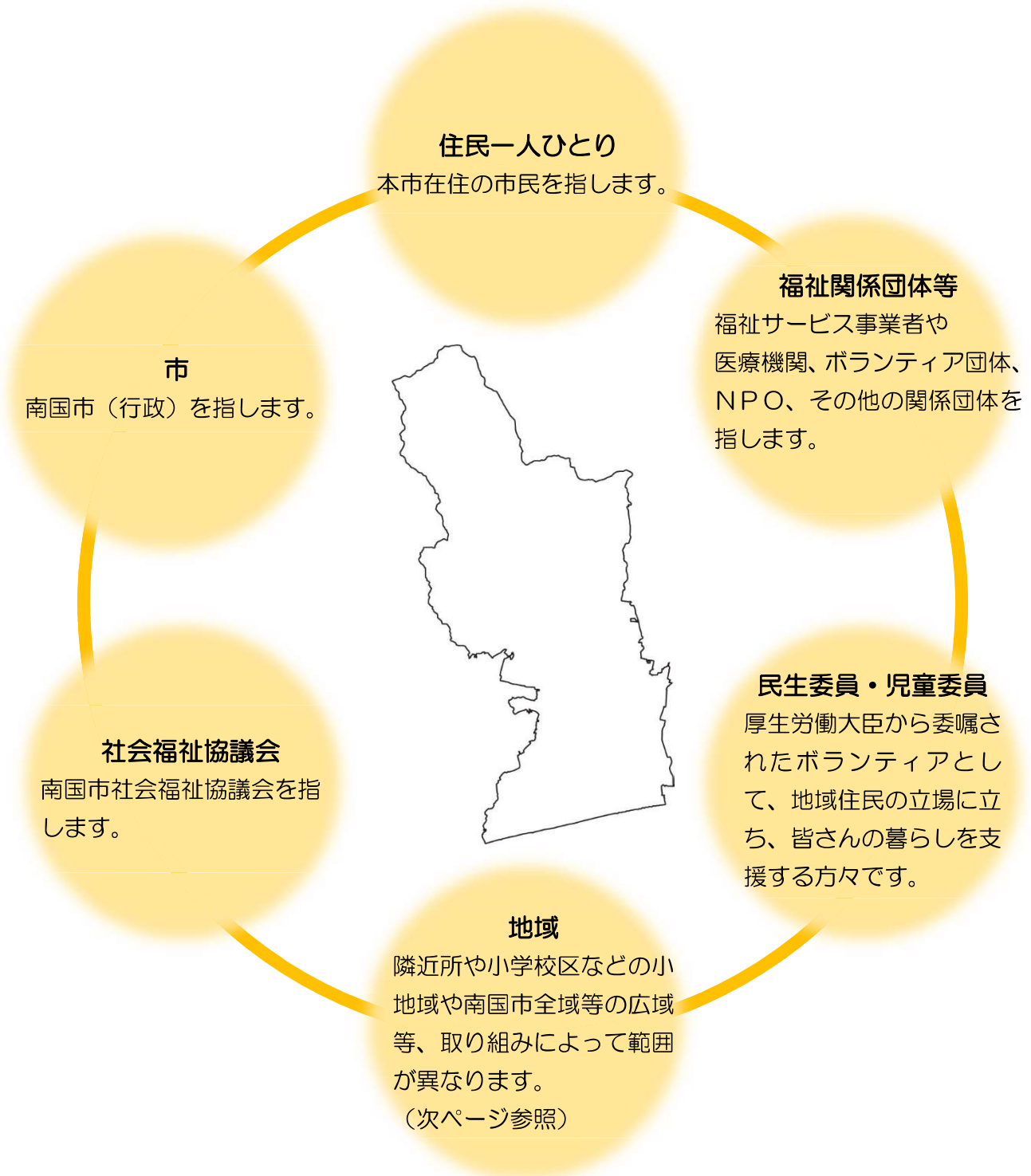
P.95

※【★】は重点施策となります。

第4節 計画の推進体制

1. 地域福祉を推進する主体

本計画の推進にあたっては、以下の主体がそれぞれの役割を推進するとともに、相互が協力し合い、協働によって進めていくものとします。



2. 本市における「地域」の範囲

日常生活で地域を考えると時に思い浮かぶ地域は隣近所から市全域まで様々であり、地域福祉を進めていくうえでの「地域」の捉え方は、地域の課題や取り組みの大きさ、範囲によって異なります。

隣近所の最も小さい範囲から市全域まで、地域を重層的に捉え、適切な範囲において施策を展開することで、効果的な活動を図ることが重要です。

また、それぞれの範囲で活動している人々が、その範囲の中で横のつながりを築くだけでなく、範囲を超えた連携も築いていく必要があります。

